

知のエンタテイメント
第4回 実践に役立つ学術フォーラム
「IoT/AI適用の現状と将来」
開催レポート

開催：2017年11月20日（月）
於：八芳園



開催概要

イベント名：知のエンタテイメント
第4回 実践に役立つ学術フォーラム
「IoT/AI適用の現状と将来」

日時：2017年11月20日（月）

フォーラム：13：00～17：00 懇親会：17：15～19：00

会場：八芳園（〒108-8631 東京都港区白金台1-1-1）

参加者：フォーラム：92名 懇親会：69名

登壇者：岩尾 聡士氏（京都大学経営管理大学院 外部マネジメント研究（アイカ工業）寄付講座 特定教授
高齢社会街づくり研究所株式会社 特別顧問）

湯山 茂徳氏（京都大学経営管理大学院 特命教授／学術フォーラム実行委員長）

安藤 康伸氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所
機能材料コンピューショナルデザイン研究センター研究員）

伊藤 元重氏（東京大学名誉教授／学習院大学国際社会科学部教授）

主催：特定非営利活動法人 次代の創造工房

共催：八芳園

特別協賛：鹿島建設株式会社

協賛：株式会社小糸製作所、信和産業株式会社、日本フィジカルアコースティクス株式会社

協力：アゼリーグループ、ヒーローズエデュテイメント株式会社、Support Our Kids実行委員会

※本企画の収益は、必要経費を除き、東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト「Support Our Kids」の活動に充当いたします。

スケジュール

【フォーラム】

- 13:00～13:10 (10) 湯山 茂徳氏 開会のご挨拶
- 13:10～13:40 (30) 岩尾 聡士氏
「IoT/AIの活用によるヘルスケアイノベーション」
- 13:45～14:15 (30) 湯山 茂徳氏
「国内外におけるスマート工場、スマートコンビニート、
インフラ構造物へのIoT/AI適用」
- 14:15～14:30 (15) 休憩
- 14:30～15:00 (30) 安藤 康伸氏
「学術の現場へのAI適用における検討課題」
- 15:05～15:35 (30) 伊藤 元重氏
「IoT/AI普及が経済に及ぼす効果」
- 14:35～14:45 (10) 休憩
- 15:45～16:45 (60) パネルディスカッション
「IoT/AI適用の現状と将来」
- 16:45～17:00 (15) 質疑応答

【懇親会】

17:15～19:00 (105)

フォーラム①

◆プログラム1



岩尾 聡士氏（医学者）

京都大学経営管理大学院
ホスピタリティマネジメント研究（アिका工業）寄附講座 特定教授

テーマ

IoT/AIの活用によるヘルスケアサービスのイノベーション

- ・日本以外の国は、前期高齢者が増え、日本だけが75以上の後期高齢者が爆発的に増える。
前期高齢者の増加 → 医療と介護は、別々の提供で良い。 ※日本以外の国
後期高齢者の増加 → 医療と介護は、同時に提供する必要がある。 ※日本
- ・今後、男性は85歳、女性は90歳まで生きる。
- ・85歳を超えると要介護が半分以上になる。
- ・社会が急激に変化している中で、どのように対応していくかが重要となる。
→IoTによる、一元健康管理、労働マッチングなどをし、生産性を2倍、3倍にする必要がある。
・人づくりも大切になってくる。

◆プログラム2



湯山 茂徳氏（学術フォーラム実行委員長）

京都大学経営管理大学院 特命教授

テーマ

国内外におけるスマート工場、スマートコンビニート、
インフラ構造物へのIoT/AI適用

- ・GDPを600兆円にするために、IoT/AIの活用が必須となる。
- ・日本は製造業の国、IoT/AIを活かして、どう発展させていくかが重要となる。
- ・IoTは、コンピューターによる連続監視。
- ・20年ほど前は、電話線を用いて、モニタリングをしていた。
- ・いろいろなセンサーを用いて、データ（ビックデータ）を取り込んで、モニタリング（IoT）をする
- ・工場の中でいろいろな機器をモニタリングして設備の診断を行うことは、10数年前から
日本で実施しており、日本の技術は世界の最先端にあり、決して遅れているわけではない。
- ・IoT→データベース→AIは、全てリンクしている。
- ・「文理融合」教育の必要性。

フォーラム②

◆プログラム3



安藤 康伸氏（物理学者）

国立研究開発法人産業技術総合研究所
機能材料コンピュータシミュレーションデザイン研究センター 研究員

テーマ

学術の現場へのAI適用における検討課題

- ・科学や学術の現場で研究を進めるにあたり、AIや情報科学など今の技術を使用しないとこれから先どのように研究をやっていったらいいのかわからない状況になるのではないかと感じている。
- ・AIは、数学の延長。
- ・AI（人口知能）の導入にあたって、最大の難問は、課題設定。
→課題フローを正確に打ち出せる人材が必要。
- ・人口知能がすべてをしてくれるわけではない。人口知能が何かひとつの作業を担当し、それが何かを発見するための情報となる。
- ・今後、天才たちが作ったもの、先人の知恵を使い、次のステップへ私達が進まなければならない。

◆プログラム4



伊藤 元重氏（経済学者）

東京大学名誉教授／学習院大学国際社会科学部教授

テーマ

IoT／AI普及が経済に及ぼす効果

- ・情報セキュリティリスクに対し、日本は弱いレベルへの不安がある。
- ・サイバーとリアルの補完的なところにビジネスチャンスがある。
- ・取り組むべき分野：モビリティ、スマートライフ、ものづくり・ロボット、バイオ・素材、インフラ保安
- ・サブスクリプションサービスにより生産者と消費者の距離が縮まる。
- ・労働人口が減少している

フォーラムの様子



懇親会の様子



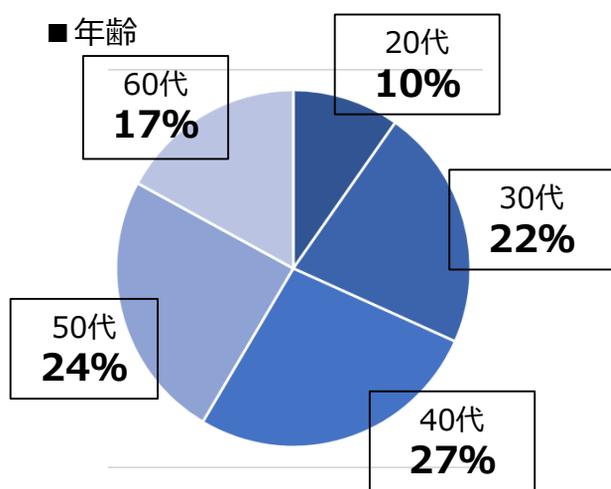
▲ダンスショー
湯山茂徳氏（左）、井上奈茄氏（右） 村野みり氏（左）、榎田隆宏氏（右）

▲乾杯 伊藤元重氏

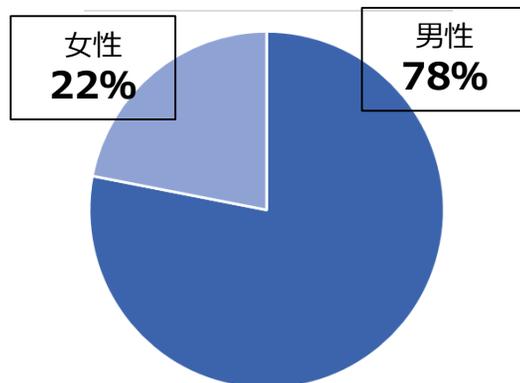


参加者アンケート

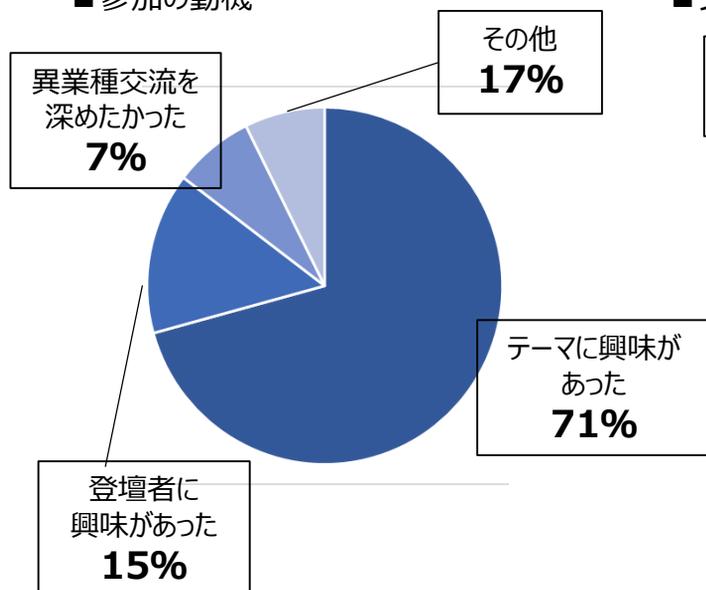
■ 年齢



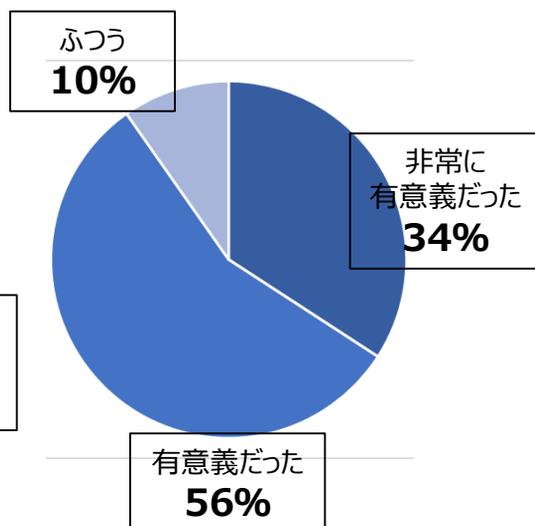
■ 性別



■ 参加の動機



■ フォーラムの感想



■ 参加者の主なコメント

- ・色々な視点を集めて、自分のインプットとして噛み砕いて活かしていきたいと思います。
(40代 男性)
- ・普段接しない分野の情報が得られて大変勉強になりました。
IoTの活用に対して、どの様な考え方をしていけばいいのかヒントを得られたと思います。
(30代 女性)

制作物

■当日配布プログラム (A3二つ折り)



■当日パネル (A1サイズ)



▲ステージ両端に設置

■当日配布アセンブリ



▲受付に設置

■事前告知チラシ (A4両面)

